

## 新型コロナウイルス感染症対策の進捗に関する関係閣僚会議（第3回）

### 議事概要

#### 1 日時

令和3年7月14日（水）17時04分～17時21分

#### 2 場所

官邸2階大ホール

#### 3 出席者

菅 義偉	内閣総理大臣
武田 良太	総務大臣
萩生田 光一	文部科学大臣
田村 憲久	厚生労働大臣
梶山 弘志	経済産業大臣
赤羽 一嘉	国土交通大臣
加藤 勝信	内閣官房長官
河野 太郎	国務大臣
西村 康稔	国務大臣
和泉 洋人	内閣総理大臣補佐官
藤井 健志	内閣官房副長官補
福島 靖正	厚生労働省医務技監
小野 日子	内閣広報官

#### 4 議事概要

- 厚生労働大臣から、資料1に基づき、最近の感染状況等について説明。
- 河野国務大臣から、資料3に基づき、ワクチン接種の状況について説明。

#### ○意見交換

（西村国務大臣）

- ・ ワクチン接種について、イギリス、イスラエル、アメリカなど接種が進んだ国々では、様々な行動制限が緩和されている。専門家の皆様に、どの段階でどのような緩和ができるのかということを検討してほしいとお願いしている。
- ・ 特に、緊急事態宣言の期間である、8月22日頃には、順調にいけばワクチン接種が今のヨーロッパ並みになることが想定されるし、10月から11月にかけては希望する全ての国民にワクチン接種が完了する見込みである中で、それぞれの段階でどの程度こういったことができるのかを、専門家の御意見を伺いながら検討を進めたいと思っている。

- ・ 専門家の中には、若干慎重な意見や、イギリスでも今感染が増えているのではないかといった指摘がある。確かにイギリスでは入院者数は増えてはいるが、死亡者の数は非常に低く抑えているので、そのあたりの分析をお願いしている。
- ・ 今後、ワクチン接種と検査を組み合わせることや、あるいはQRコードで追跡ができる仕組みも含めて、イベント、飲食店などで実証的な取り組みもできないかと、提案を受けており、そうしたことの検討も含めて、考えていきたい。関係省庁には御相談させていただきたいと思っているので、御協力をよろしくお願いしたい。

(文部科学大臣)

- ・ 内閣官房にも御協力いただいて大学の拠点接種を進めており、現在 429 の大学から相談がきている。そのうち 392 大学が既に申請を行い、これらについては順調に始まっている、または始まる予定である。
- ・ また、留学を予定している学生について、約 2,600 人から相談があり、既に約 2,000 人が 1 回目の接種を終えており、これも順調に進んでいる。
- ・ 霞ヶ関の国家公務員職域接種については、水際対策、危機管理・災害対策要員等を中心として、1 回目の接種を 14,000 人が終えて、これも順調に進んでいる。
- ・ 2 回目の接種を大学の拠点では夏休み中に終わらせて、後期から対面授業をやりたいと思っているため、引き続きの御支援をお願いしたい。
- ・ 自治体の接種について、会場の提供に協力いただいた大学が 760 ぐらいあるが、その後、大学の拠点接種という新しいカテゴリーができたため、そうした大学が、自分たちの大学についての接種ができないという状況がある。この点は、河野大臣と相談しながら、できるだけ早く解決していきたい。

### ○内閣総理大臣ご発言

- ・ 多くの方々が新型コロナウイルスの感染状況やワクチンの配分状況について心配されており、そうした中で、本日は閣僚間で議論を行った。
- ・ 東京都を中心に新規感染者の増加が続いている。本日の東京都の感染者数は 1,149 人となった。重症者数は 54 人となり、ほぼ横ばいで推移している。緊急事態宣言の下、感染対策を徹底するとともに、ワクチン接種を進めていく。
- ・ ワクチン接種については、自治体や医療関係者の御尽力により、総接種回数は 6,000 万回を大きく超え、高齢者の約 8 割が 1 回の接種を、5 割が 2 回の接種を終えた。全国民の 3 割の方が 1 回の接種を行っている。
- ・ 東京都の新規感染者に占める高齢者の割合は、今年初めは 20 パーセント台でありましたけれども、直近では 4 パーセント前後にまで下がっており、重症者や死亡者の増加を食い止めることにつながっていると思う。
- ・ これまで、国民の命と健康を守るために、世界的な確保競争の中で手に入れたワクチンを、一日も早く多くの方に打つべく、最大限の支援を行い、皆様の御協力により、予想を上回るペースで接種が進んできた。
- ・ そうした中で、特に接種が進んでいる自治体において、今後のワクチン供給に不安

が生じ、新規の予約停止などにより、御迷惑をおかけし、大変申し訳なく思っている。しかし、そのことにより、接種が止まるということではなく、当初の目標を大きく超える1日120万回程度のペースで接種を行うことができるワクチンを配分する。

- ・ このため、先週の会見で申し上げたとおり、接種が進む自治体に多く配分することとし、一昨日、8月前半の具体的な配分量をお示しした。
- ・ 引き続き、ワクチンの需給状況を自治体と共有し、緊密に連携しながら計画的に接種を進めていく。
- ・ また、先般の酒類の卸業者や金融機関に関する要請については、昨日までに撤回したが、飲食店や酒類販売事業者などの皆様に御不安や混乱を与えてしまい、お詫び申し上げます。
- ・ 飲食店の酒類提供の停止は、専門家も指摘する感染対策の肝である一方、飲食店の方々にとっては死活問題であり、こうした点を踏まえ、引き続き、飲食店など様々な関係者の皆様の声をしっかり伺いながら、協力金の早期の支給など、環境整備に努めていく。
- ・ 各大臣におかれては、引き続き、自治体と連携しながら、感染対策とワクチン接種に全力を挙げていただくようお願い申し上げます。

以 上